

令和8年度 国語科「文学国語」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～7組 国際人文科・2年・8組
教科書	文学国語（東京書籍）	副教材等	最新国語便覧(浜島書店) 漢字ボックス(浜島書店)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	山月記 永訣の朝	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 中間考査	李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ、主題に迫る。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査
6 7	物語の展開や状況の変化に注意して小説を読み、現代の社会や自らの生活を捉え直す。 小説を読み、そこに込められた寓意や描かれた人々の姿から生きることへの考えを深める。	鞆 山椒魚	小説の設定や登場人物の変化に注目し、小説を読む楽しみを味わわせる。 人間や物事の本質に迫る小説を読み、登場人物の言動や生き方を受け止める。 期末考査	鞆の象徴するものを手がかりに、作品の主題について考える。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	行動の観察 記述の確認 定期考査 行動の観察 記述の確認 定期考査
9	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	こころ	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	行動の観察 記述の確認 定期考査

10				中間考査	
11 12	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	こころ	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
1 2 3	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させる。	舞姫	構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
				期末考査	

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】 授業中の意見交換や発表の機会に積極的に取り組み、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。</p> <p>【書く能力】 作品の主題や登場人物の心情、場面の意味などについて、自分なりの解釈や感想が書けている。</p> <p>【読む能力】 深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばすために、登場人物の心情を深く読み取ろうとしている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

様々な文章を通して言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養っていきましょう。

単位数	3単位	学科・学年・学級	人文科2年8組
教科書	精選古典探究 古文編 漢文編 (三省堂)	副教材等	国語便覧 (浜島書店) 完全マスター古典文法 (第一学習社) イラストとシーンでおぼえるLOOK@古文単語337 (京都書房)

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めたりする能力。	大和物語 嫉捨	・話の展開と登場人物の心情を読み取る。 ・物語中の和歌に役割について理解す	・「男」が「をば」を捨てるまでの経緯を整理する。 ・「男」が「をば」を捨てた後、迎へに行くまでの心情の変化をまとめる。	行動の観察 記述の確認 定期考査
5	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につける。	故事成語 画竜点睛 病入膏肓	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして、語感を磨き語彙を豊かする。 中間考査	・故事の内容を読み取る。 ・故事成語が現在どのような意味で使われているのか理解する。 ・言葉のもつ奥行きについて考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
6	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につける。	方丈記 ゆく河の流れ	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	・随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ・内容や描写に着目し、随筆の特徴を理解する。	行動の観察 記述の確認 定期考査
7	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につける。	故事成語 杞憂 塞翁馬	古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深め、構成や展開などを的確に捉えている。 期末考査	・故事の内容を読み取る。 ・故事成語が現在どのような意味で使われているのか理解する。 ・言葉のもつ奥行きについて考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
9	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めたりする能力。	伊勢物語 月やあらぬ 筒井筒	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	・登場人物の行動と心情を読み取る。 ・物語中の和歌の役割について理解する。 ・物語に描かれた人間のありようを考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
10	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につける。	近体詩 鹿柴 涼州詞 春夜 送友人	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める。 中間考査	・詩に描かれた情景や心情を読み取る。 ・詩形や押韻、詩の構造を把握する。 ・日本の言語文化における漢詩の意義について考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査

11	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めたりする能力。	枕草子 中納言参りたまひて	内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。	・本文中の会話はそれぞれ誰の発言か、敬語に注意して整理する。 ・登場人物の発言には、どのようなもしろさがあるか話し合う。	行動の観察 記述の確認 定期考査
12	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。	史記 四面楚歌	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め 期末考査	・作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。 ・それぞれの登場人物の性格や心情を読み取る。 ・項王の生き方について考える。	行動の観察 記述の確認 定期考査
1	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めたりする能力。	日記 更級日記 あこがれ	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを深める。	・作者がどのように物語に引き込まれていったかを読み取り、まとめる。 ・作者の物語へのあこがれは、どのように描かれているか、作者の行動と合わせてまとめる。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。	小説 桃花源記	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを深める。 期末考査	・小説の構成や展開を理解し、内容を読み取る。 ・桃花源がどのようなところとして描かれているか、風景や住人の様子に留意してまとめる。	行動の観察 記述の確認 定期考査
3					

3 評価の観点

知識・技能	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについて理解し、知識を身につけている。
思考・判断・表現	【読む能力】 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

1年生の「言語文化」では小説・古文・漢文を学んできました。「古典探究」では古典に特化して、広く、さまざまな作品を読んでいます。まずは読解に必要な基礎事項（語句の意味・文法・古典常識など）を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

単位数	3単位	学科・学年・学級	2年1～8組
教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)	副教材等	明解 歴史総合図説 シンフォニア (帝国書院)

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち 2章 歴史の特質と資料	お茶からみる日本と世界の歴史 史料を取り扱ってみよう 歴史叙述とは何か考えてみよう	・私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。
		2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	①アジアのなかの江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	・江戸時代の日本と世界国々との結び付き ・18世紀清をとりまく国際関係 ・17～18世紀のアジア・アメリカにおける貿易の展開	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	5	2章 欧米諸国における近代化	①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制	・イギリス革命・アメリカ独立戦争後の政治体制 ・フランス革命による政治・社会の変化のあり方 ・近代社会の形成における産業革命の役割	
第1学期	6	3章 近代化の進展と国民国家形成	①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化	・1848年後のヨーロッパ社会の変化 ・イタリア・ドイツ・ロシアの近代国家形成の展開 ・アメリカ合衆国の国内統一と工業化	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
		4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡	・19世紀のイスラーム諸国とヨーロッパ諸国の関係 ・ヨーロッパ植民地によるアジアでの植民地形成 ・幕末期の日本と欧米諸国との関係	
	7	5章 近代化がすすむ日本と東アジア	①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響	・明治維新期の政治・社会の変化 ・近代化の進展による日本・清・朝鮮それぞれの国際関係の変化 ・日露戦争が国際社会に与えた影響	
			中間考査		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応	①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結	・ドイツ・ロシアの対外政策の変更とその影響 ・第一次世界大戦における国や人の関わり ・ロシアにおける社会主義政権の誕生過程	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員や非戦闘員・植民地の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
		2章 国際協調と大衆社会の広がり	①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成	・第一次世界大戦後の国際秩序の形成 ・欧米における大衆社会のあり方 ・日本の大衆社会の形成	
			中間考査		
			期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	3章 近代化の進展と国民国家形成	①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満洲事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍	・世界恐慌の国際協調体制に与えた影響 ・日本の満洲進出とその後の日中関係 ・第二次世界大戦の進展	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	12	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 期末考査	・第二次世界大戦後の国際体制の形成 ・米ソ対立とヨーロッパの東西分裂 ・占領下の日本と独立回復の過程したのだろうか。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本	①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題	・米ソの緊張と緩和が国際社会に与えた影響 ・日本の高度経済成長を支えた国内外の要因 ・冷戦激化とアジア・アフリカの脱植民地化の展開	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
	2	2章 多極化する世界	①揺らぐアメリカと先進各国の変化 ②「経済大国」日本の模索 ③経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ④イスラーム復興と冷戦への影響	・1960～70年代のアメリカが抱えた問題と国際社会 ・1970～80年代の日本が抱えた国内外の問題 ・イラン＝イスラーム革命が世界に与えた影響	
	3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	①冷戦の終結と変わる世界構造 ②冷戦の終結が与えた世界への影響 ③超大国アメリカと中東情勢 ④国際環境の変化と日本 ⑤グローバル化による国際社会の変容 学年末考	・冷戦体制の終結と世界構造の変化 ・アメリカと中東情勢の関係 ・グローバル化の進展による国際社会の変化	

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

歴史を遠い過去の出来事としてとらえるのではなく、「今」私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。歴史を学ぶことで「今」の私たちのあり方がみえてきます。また、「今」世界で起きていること、問題となっていることに目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史総合で学ぶことがつながるはずです。

令和8年度 数学科 「数学A」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科 2年8組
教科書	改訂版 高等学校 数学A (数研出版)	副教材等	改訂版 4プロセス 数学A (数研出版)

1 学習の到達目標

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学期	4	第1章 場合の数と確率 1節 場合の数	1. 集合の要素の個数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	5		2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ 中間考査		
	6	2節 確率	5. 事象と確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
	7		6. 確率の基本性質 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
2 学期	9		7. 独立な試行の確率	試行の独立について理解を深め、反復試行の確率や条件付き確率を求められるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	10		8. 条件付き確率 9. 期待値 中間考査		
	11	第2章 図形の性質 1節 平面図形	1. 三角形の角の二等分線と辺の比	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
	12		2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図 期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
3 学期	1	2節 空間図形	8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体	空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	定期考査 授業での行動観察 授業ノート 問題集ノート 課題プリント 小テスト など
	2	第3章 数学と人間の活動	1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解	整数の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
	3		3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. n進法 8. 整数の性質と人間の活動 9. 座標の考え方 10. ゲーム・パズルの中の数学 学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。</p> <p>評価の中心は、定期考査の点数（素点）になります。しっかり定期考査前はテスト範囲の勉強に取り組み1点でも高い点数を取るようになしてください。</p> <p>その他各教科担当者から定期考査毎に提出物の指示があります。プリントやワークなど、提出指示があったものは必ず忘れずに提出するようにしてください。</p>
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>習熟状況や進度状況により、学習時期が前後する場合があります。発展的な関連する内容を取り扱うこともある。</p> <p>授業に必要なもの</p> <p>1. 教科書 2. 授業用ノート 3. 4プロセス数学I+A問題集（解答） 4. 問題集用ノート 5. 筆記用具</p> <p>中学校時代に数学が苦手だった人も丁寧に一から学び直せばすぐに得意教科になります。難易度の高い問題にはセンスが必要なものもありますが、多くの問題はセンスよりも反復が必要です。繰り返し問題を解き、全員数学が得意と言えるようになります！</p>

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科・2年・8組
教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)	副教材等	改訂 ネオパルノート化学基礎 (第一学習社)

1 学習の到達目標

基礎的な化学の知識（言葉や記号など）を身につけ、基本的な化学的概念や原理を学ぶ。
また自然現象を化学の立場から理解し、実際の現象を実験し観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素	①物質の分離(1) ②物質の分離(2) ③物質を構成する元素 ④成分元素の確認 ⑤原子のなりたち ⑥同位体とその利用 ⑦原子の電子配置 ⑧元素の周期律と周期表	<ul style="list-style-type: none"> 物質は混合物と純物質、化合物と単体などに分類されることを学び、元素について理解する。また、成分元素の確認法を学習する。 原子の構造について理解し、同位体とその利用を学習する。 原子の電子配置とその表し方（電子式）を学習する。 元素の周期律を理解し、周期表の成り立ちを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト 定期考査
	5		中間考査	教科書P. 14-45	・定期考査
	6	第2節 物質と化学結合	①イオン(1) ②イオン(2) ③イオン結合 ④イオンからなる物質	<ul style="list-style-type: none"> イオンの種類とその生成について学習する。 イオン結合、組成式を理解し、イオン結晶とその利用を学ぶ。 共有結合と分子の形成について学習する。 分子の構造にもとづく分類と極性について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	7		⑤共有結合(1) ⑥共有結合(2) ⑦分子の極性 ⑧分子間に働く力 ⑨分子からなる物質 ⑩共有結合の結晶 ⑪金属結合と金属結晶	<ul style="list-style-type: none"> 分子結晶と種々の気体、有機化合物、高分子について学習する。 おもな共有結晶について学習する。 金属結晶について学び、各結晶の一般的性質を比較する。 おもな金属の利用について学習する。 	・定期考査
第2学期	9	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	①原子量 ②分子量・式量 ③物質(1) ④物質(2) ⑤溶解と濃度 ⑥溶解度 ⑦化学変化と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 元素の原子量を理解し、分子量、式量の求め方を学習する。 物質と粒子の数、質量との関係を学習する。 物質と気体の体積の関係を学習し、空気の平均分子量を理解する。 質量パーセント濃度と質量モル濃度を学習する。 溶解度を学習し、再結晶の原理を理解する。 状態変化と化学変化の違いを理解し、化学反応式の作り方を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10				

第2学期			中間考査	教科書P. 80-113	・定期考査
	11	第2節 酸・塩基とその反応	⑧化学反応式と量的関係(1) ⑨化学反応式と量的関係(2) ⑩化学反応における諸法則 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱と水素イオン濃度 ③水素イオン指数pH ④中和と塩 ⑤中和の量的関係 ⑥中和滴定 ⑦中和滴定とpHの変化 探究活動	・化学反応式と粒子の数、質量、気体の体積の関係を学習する。 ・過不足がある化学反応について学習する。 ・化学反応における諸法則を学習する。 ・酸と塩基の定義を理解する。 ・酸・塩基の強さと水素イオン濃度との関係を理解する。 ・水素イオン指数について学習する。 ・中和と中和によって生じる塩について学習する。 ・中和とその量的関係について学習する。 ・中和滴定の操作を習得し、中和滴定曲線を理解する。 ・中和滴定について、観察・実験を通して探究し、実験技能の習得や理解を図る。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト
12			期末考査	教科書P. 116-141	・定期考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第3節 酸化還元反応	①酸化と還元 ②酸化数と酸化還元反応 ③酸化剤・還元剤と金属のイオン化傾向 ④酸化還元反応の利用 ⑤電池 ⑥電気分解	・酸化と還元の定義を理解する。 ・酸化数を学習し、酸化剤と還元剤の反応を理解する。 ・酸化剤と還元剤の反応と金属のイオン化傾向を理解する。 ・酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト
	2		探究活動	・金属のイオン化傾向について、観察・実験を通して探究し、実験技能の習得や理解を図る。	
	3		学年末考査	教科書P. 142-167	・定期考査

3 評価の観点

知識・技能	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身に付けている。 物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

化学は積み重ねの学問で、一つ一つは易しいのですが三つ四つと重なると分からなくなります。例えば、化学反応では化学式、化学反応式、分子量、式量、物質質量などと、様々な知識の利用が要求されます。前時に学習した内容を整理して授業に臨むことで、理解度が大きく変わります。予習よりも復習に使う時間を多く取って下さい。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科・2年次・選択者
教科書	改訂 生物基礎（東京書籍）	副教材等	改訂 ニューステップアップ生物基礎（東京書籍）

1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1編 1章 生物の多様性と共通性	1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 地球上に住む生物の種類が膨大であることに気づき、地球上に多様な種が見られるのはなぜか考える。 生物と非生物の違いが何科を考えることを通して、生物と非生物を分ける基準が存在することに気づく。 すべての生物のもつDNAが細胞のどこにあるかを考える。 多様な姿の細胞は、どのような共通性をもっているのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5	1編 2章 生物とエネルギー	1節 生体とATP 2節 生体内の化学反応 3節 呼吸と光合成	<ul style="list-style-type: none"> 光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、有機物を合成する過程であることを理解する。 呼吸は、酵素の働きによってATPがつけられる過程であることを理解する。 共生説の考え方を理解する。 	
				中間考査	教科書P. 8～48
	6	2編 1章 遺伝情報とタンパク質	1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	<ul style="list-style-type: none"> ヌクレオチドの構造および、塩基の相補性にもとづくDNAの二重らせん構造について理解する。 身近な材料を用いて、DNAを抽出する。また、染色してその存在を確認する。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	7	2編 2章 遺伝情報とタンパク質	1節 タンパク質 2節 DNAとタンパク質の合成 3節 細胞分化と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質の働きや構造などを理解する。 酵素の基本的な特徴について理解する。 ダイコンに含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の特徴を確認する。 転写と翻訳の流れを理解する。 遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 	
			期末考査	教科書P. 50～90	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3編 1章 体内環境と情報伝達	1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達 3節 ホルモンによる情報伝達 4節 血糖濃度の調節	<ul style="list-style-type: none"> 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 心臓や血液循環の経路、肝臓、腎臓について理解する。 恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 単細胞生物や無脊椎動物、魚類の体液の濃度調節について理解する。 動物の体液の濃度が、自律神経系とホルモンの働きによって調節されていることを理解する。 ホルモン分泌の調節のしくみについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10				中間考査

第2学期	11	3編 2章 免疫の働き	1節 免疫のしくみ 2節 免疫記憶 3節 免疫とさまざまな疾患	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚や上皮による生体防御について理解する。 免疫の概要を理解する。 アレルギーや自己免疫病、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法 of のしくみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	12	4編 1章 植生と遷移	1節 植生とその環境 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> バイオームの概念を理解する。 森林の階層構造を理解する。 光の強さと光合成速度の関係のグラフを理解する。 陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを理解する。 気温と降水量の違いによってさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 <p>教科書P.124～174</p>	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4編 2章 生態系と生物の多様性	1節 生態系における生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の構成や食物連鎖（食物網）について理解する。 生態ピラミッドや物質の生産と消費の関係を理解する。 生態系内における炭素と窒素の循環を理解する。 植物が菌根菌と共生していることを確認する。 生物の個体数や量は、常に一定の範囲内で変動しながらバランスが保たれていることを理解する。 人間活動が生態系にさまざまな影響を与えていることを理解する。 外来生物の移入が在来生物に与える影響について理解する。 生態系を保全するために、さまざまな条約が締結され、それにもとづいた国内法が整備されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	2		2節 生態系における生物間の関係		
	3		3節 生態系と攪乱 4節 生態系の保全 学年末考査		
				教科書P.176～208	

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、生物や生物現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるか。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 生物や生物現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>高校の生物の学習では、主に生命現象を理解するために、DNAやタンパク質などミクロの世界の現象を扱ったり、一方で生態系など大きなレベルでの現象を扱ったりすることも多い。これらは、ともに目に見えるレベルでの現象ではないことが多いため、理解が難しいこともある。しかし、生物学を学ぶことで、ヒトをはじめ生物とは何か、より深く理解し、今までとは異なる見方ができるようになる。</p> <p>授業では、それぞれ担当の先生が伝える、授業を受けるにあたってのアドバイスを守ることが大切になる。また、当たり前だが、提出物等を必ず提出すること。</p>

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育Ⅰ 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①お互いに助け合いながら、学習に主体的に取り組める。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択をし、挑戦する課題を設定することができる。</p> <p>③記録や技に挑戦して、新たな得意技や高度の攻防などの動きを高めることができる。</p> <p>④運動の課題解決の方法について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方①	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技術と技能 ・運動やスポーツの技能の上達過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞
5	球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・サッカーテニス） ・個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（2対2、3対2、3対3） ・守備の戦術についての話し合い ・試合（審判法を学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
6	球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを使ったウォーミングアップ ・基本的な個人技術（パス、ドリブル、シュート） ・対人練習（1対1、2対2、3対3） ・攻撃の戦術についての話し合い ・試合（ルールを学ぶ） ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・学習カード分析 ・記録計測 ・学習カード分析
9	体育理論	体育理論 2. 運動やスポーツの効果的な学習の仕方②	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能と体力の関係 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察
	体づくり運動	体づくり運動（長縄）	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・記録計測

10	器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カード分析 ・スキルテスト ・ワークシート分析 ・スキルテスト ・学習カード分析
11	球技	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高める下位動作 ・基本的な技① ・基本的な技② ・発表に向けての練習 ・ミニ発表会 ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
1 2 3	陸上競技	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動 ・ペース走 ・時間走 ・タイムトライアル ・距離走 ・整理運動、ストレッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・行動観察 ・記録計測 ・記録計測 ・記録計測 ・行動観察

3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。 ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。 ③時間を守り集合・整列してください。 ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。
--

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育Ⅱ 」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組める。</p> <p>②自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぶことができる。</p> <p>③中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。</p> <p>④技術の名称や行い方、体力の高め方について理解できる。</p>
--

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史的発展と多様な変化 ・現代のスポーツの意義や価値 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
5	武道	・剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法・所作 ・構え・足掻き ・基本の技と受け方 (面・小手・胴・小手面・小手胴) ・胴・垂の着装 ・引き技と受け方 (引き面・引き小手・引き胴) ・すり足でのパターン練習 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト
6		・柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・礼法・所作 ・柔道着の着方 ・補助運動 (柔軟運動・補強運動) ・受け身の基本 (後受身・横受身・前回り受身) ・受け身の応用 (後受身・横受身・前回り受身) ・学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 スキルテスト スキルテスト 学習カード
7				
9	体育理論	体育理論 (入学年次) 1. スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済的効果と高潔さ ・スポーツが環境や社会にもたらす影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論新聞 ・行動観察 ・ワークシート分析
10	体づくり運動	長縄	<ul style="list-style-type: none"> ・試しの長縄跳び ・リズムよく跳ぶ ・縄の回し方と跳び方 ・声かけ ・クラスの課題発見 ・体力の限界に挑戦する 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 行動観察 記録計測
11	球技	卓球	・ラリーによるウォーミングアップ	・行動観察
12			・基本的な個人技術 (サービス、ストローク、ドロップ、ボレー)	・スキルテスト
1			・実践練習 (シングルス、ダブルス)	・行動観察
2			・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い	・行動観察
3	・リーグ戦	・行動観察		
		・学習の振り返り	・学習カード分析	

3. 評価の観点

知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。
- ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。
- ③時間を守り集合・整列してください。
- ④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。

令和8年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「保健」

単位数	1	学科・学年・学級	普通科 2年1～7組 国際人文科 2年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

<p>①テーマについて関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>②課題解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。</p> <p>③テーマについての基礎的な事項を理解できる。</p>

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯を通じる健康	ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連および各ライフステージで活用できる社会からの支援について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		思春期と健康	思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		性意識と性行動の選択	性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
5		妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
6		結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		中高年期と健康	加齢にともなう心身の変化、高齢社会に必要な社会的に必要な取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
7		働くことと健康	働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
9		労働災害と健康	労働災害および、労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
		健康的な職業生活	職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
10	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康	大気汚染の原因とその健康影響、大気にかかわる地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁の原因とその健康影響、土壌汚染の原因とその健康影響、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解し、説明することができる。	行動観察 小テスト
11		環境と健康に関わる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法についての理解、産業廃棄物の処理について理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状とその課題、上下水道の整備について理解し、健康に関わる課題を説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
12		食品の安全性	食品の安全性と健康の関わりおよび今日の課題について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割および個人の役割について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
1		保健サービスとその活用	保健行政の役割および保健サービスの活用について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
		医療サービスとその活用	わが国における医療保険のしくみおよび医療機関の役割について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析

2	医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解し、説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
	さまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動および行政機関による社会的対策について説明することができる。	行動観察 ワークシート分析
3	健康に関する環境づくりと社会参加	健康の保持増進のための環境づくりおよび主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	行動観察 小テスト

3. 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

4. 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ①授業中の板書事項だけでなく、左ページについても回答し、日常的にノート整理に努めてください。
- ②ノートは各学期末に提出します。
- ③日頃から健康や安全に関心を持ち、生涯を通じる健康を目指しましょう。

令和8年度 芸術科「音楽Ⅱ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年次 1～7組 国際人文科 2年次 8組
教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	歌唱に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・からたちの花 ・浜千鳥	・日本語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じ取って表現する。 ・発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・仲間と協調し合って音楽を作り上げる。 ・楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	5	いろいろなアンサンブルの形態を知り、表現しよう	【器楽】 ・リズム 「ロック・トラップ」		
	中間考査				
	6	楽器の響きを味わって表現しよう	【器楽】 ・ギター 基本の弾き方 弾き語り	・楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・楽器の響きを感じ取り、表現を工夫する。 ・楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。 ・曲想に応じて表現する技能を身に付けている。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	7	鑑賞	【鑑賞】 ・古典派 「モーツァルト三大オペラ」 ・フィガロの結婚 ・魔笛		
	期末考査				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	声の響きを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・オペラアリア ・Voi che sapete ・Der Vogelfanger bin ich ja	・外国語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 ・曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 ・アンサンブルの響きを感じ取り、表現を行う。 ・発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 ・読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
	10	日本の音色に親しみ、特徴を感じ取ろう	【器楽】 ・箏アンサンブル 「さくらさくら」		
	中間考査				
	11	日本音楽の良さを感じよう	【器楽】 ・三味線実技講習	・さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・日本音楽への興味関心を高め、三味線の基本的な奏法を身につける。	・行動観察 ・学習プリント ・実技試験
12	鑑賞	【鑑賞】 ・バロック ・箏曲			
期末考査					

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	歌唱曲に親しみ、そのよさを味わって、表現しよう	【歌唱】 ・ave verum corpus	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や外国語に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。 自分の思いや意図を音楽に乗せる。 音色や構成を工夫し、表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 学習プリント 実技試験
	2	自分の意思を持って、楽曲を創作しよう	【創作】 ・ヴォイスアンサンブル ・作曲実技講習		
	3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技術	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。 楽曲の構成など、音楽の諸要素がどのような働きをしているか聴き取っている。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。 音楽の諸要素を理解し、それらが音楽にどのような変化をもたらしているか感じ取っている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。 音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

4 評価の方法

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。

単位数	2単位	学科・学年・学級	第2年1～8組 選択者
教科書	美術2 (光村図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

- 1 美術における創造的な活動を通して、美術を愛好する心情を育てる。
- 2 美術を楽しむ態度を通して感性を高め、美術の文化や伝統についての理解を深める。
- 3 個性豊かな表現の能力と美術作品の美しさを感じ取る鑑賞能力を伸ばす。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の学習 ・鉛筆の使い方、グラデーションの出し方 ・手のデッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間通しての美術の学習内容を知る。 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	5	ポスターのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの鑑賞。 ・文化祭（星華祭）のためのポスターのデザイン <p>中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝えるもの」として様々なポスターを鑑賞し、理解を深める。 ・文化祭のためのポスターというテーマで色の効果やレタリングなど中学校の復習をしていき、画面を構成し、制作していく。 	
	6	ポスターのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の学習 ・ポスターの鑑賞。 ・文化祭（星華祭）のためのポスターのデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したポスターは選別後、美術選択者または生徒投票を実施し星華祭のポスターとして決定する。 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
7	作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・作品ポスターの鑑賞 <p>期末考査</p>			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	想像上の生き物のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・古今東西様々な空想上の生き物の鑑賞 ・生き物のデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・神話状の生物や日本の妖怪、ゲームのキャラクターなどの想像上の生き物を鑑賞し、理解を深める。 ・様々な組み合わせや設定を考え、姿をデザインしていく。 ・紙粘土で造形し、立体的に表現する。 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	10				

第2学期			中間考査		
	11	想像上の生き物のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話や妖怪画の鑑賞 ・ 石膏粘土 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話状の生物や日本の妖怪、ゲームのキャラクターなどの想像上の生き物を鑑賞し、理解を深める。 ・ 様々な組み合わせや設定を考え、姿をデザインしていく。 ・ 紙粘土で造形し、立体的に表現する。 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	12		<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した油彩は相互鑑賞し、代表者は展示する 	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手のデッサン ・ アニメーションの鑑賞 ・ アニメーションの制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手のデッサン ・ 世界のアニメーションの作品鑑賞 ・ アニメーションとは ・ 作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期の復習 ・ 日本や西洋のアニメーション作品を紹介し、理解を深める。 ・ 様々なアニメーションを紹介し、理解を深める。 ・ 動画、アニメーションの特徴を理解し、表現方法を習得する。 ・ 学習した技法を生かし作品を制作する 	ワークシート（主） 下絵・アイデアスケッチ（発、技） 作品（技）
	2		作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成作品の鑑賞を通して木彫の美しさを深く味わう心を養う。 	
	3			学年末考査	

3 評価の観点

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造的活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

4 評価の方法

学習への参加態度、意欲、理解度（出席状況、用具の扱い方、忘れ物の状況を含む）、作品の仕上がり状況をもとに総合的に評価します。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術Ⅱでは、美術Ⅰで学んだ内容を更に深めていきます。用具・用材、構成、時代背景といったさまざまな要素を考えましょう。また、それぞれの画材やモチーフの特徴を理解しながら、自らの意図と効果的な表現方法を目指し、創作活動へと展開してください。個性豊かな作品を期待しています。 ・ 学期ごとの提出作品が評価の主となります。時間を持って余すことなく、一生懸命に取り組む、妥協のない提出作品を期待します。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科2年24567組 人文科2年8組
教科書	工芸Ⅱ	副教材等	

1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション 人間と道具	・オリエンテーション	「工芸Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。	・ワークシート ・活動の様子
	5	○素材と技法 「革」 身近な生活と工芸 ・革小物	1. 導入 2. 基本技法による小作品の制作 3. 応用作品の制作 ①デザイン ②プランニング	基本技法による小作品製作 ・作品の構造分類やそれに必要な技術などについて理解しながら、刻印・染色を確実に行う。 ・金具付け・縫製を確実に行うことができる。 ・各自設計デザインを考える ・上級生の作品や参考資料をよく観察し、用途と使いやすいや形や大きさを的確に決定し、模型を作る。	・ワークシート
			中間考査	なし	
	6 7		④染色/床面処理 ⑤金具付け ⑥縫い合わせ	・染料は自然光にて色褪せやすくムラも出やすいので、濃く塗る。2色以上塗るときははみ出しに十分注意しムラなく塗る。 ・パーツが多いので、金具と道具の組み合わせや使い方を慎重に確認しながら取り付ける。 ・革は、繊維が複雑に絡み合っていて固いので、縫うに穴を空ける。 ・穴を、縫い合わせる革同士ずれず、ゆがまず適度な大きさに空ける。たるまず、縫い目を揃えて縫う。 ・できあがった作品のもつ独特の美しさを味わう	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			期末考査	なし	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	○素材と技法 「金属」 社会と工芸 ・シルバリング	1. 導入 鑑賞「金属」 2. デザイン・サイズ測定・地金の長さ割出 3. 地金とり・断面処 4. ロウ付	・彫金の技法を学ぶとともに、装飾としての工芸の役割について理解する。 ・デザインを考える。 ・サイズ測定をし、計算して地金の長さ割出をする。 ・ヤットコと芯出し棒、木槌を用いて、2で平らにした断面を隙間なく合わせる。 ・ガスバーナーの扱いに十分注意しながら、銀ロウ付けをする。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
	10				

			中間考査	なし	
	11 12		5. 成形 6. 研磨 7. 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のデザイン通りになるよう、糸鋸・鑿で成形する。 ・店頭においてある商品の様に美しい光沢が出るように目指す。 ・お互いの作品の良さを認め合いながら鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出
			期末	なし	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		○素材と技法 「樹脂素材」 社会と工芸 ・花瓶	1. 導入 2. デザイン・展開図 3. ファイルを組み立てる 4. ジェスモナイトを流し込む ・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスモナイトという合成樹脂の特徴を知る。 ・贈る相手や造形的な特徴を基に形や色を考え、全体のイメージを捉える。 ・展開図をファイルに写した面が外側になるように組み立てる。 ・形成した型に必要なジェスモナイトを測り、2回に分けて流しかけていく。色彩の工夫をする。 ・完成した花瓶に花を入れて撮影をしたり、他者の作品の意図を話し合いながら鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・活動の様子 ・作品提出

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

【授業を受けるにあたって守って欲しい事項】

- ・授業は工芸室で行いますので、速やかに移動し、チャイムと同時に始められるよう準備をしてください。
- ・制服が汚れる可能性がある作業のときは、各自判断してジャージやエプロン等の準備をしてきてください。
- ・安全とスムーズな制作のため、作業スペースの整理整頓を心がけましょう。
- ・電動工具を許可なしに使用したり、教室内の物品を無断で持ち出したりしないでください。
- ・材料や工具、作品は、自他のものにかかわらず大切に扱しましょう。
- ・欠席、公欠等があった場合は、早めに次の指示を受けに来てください。
- ・工芸室は飲食禁止です。
- ・提出物は期限を厳守してください。
- ・作品の未完成、未提出は評価がつかない場合があります。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年2345組 国際人文科 8組 選択者
教科書	書Ⅱ (教育図書)	副教材等	筆・墨 等

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション		・「書道Ⅱ」学習の意義や内容を確認し、1年間の授業内容及び評価の方法を理解する。	
	5	漢字の書の学習	隸書の古典 ・乙瑛碑 ・居延漢簡	・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・隸書特有の運筆法の基本を理解する。 ・隸書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴と時代背景を通して鑑賞し、臨書する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	6		草書の古典 ・書譜	・草書古典の臨書学習により、草書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。 ・草書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・孫過庭について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴と時代と人物を通して鑑賞し、臨書する。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	7	創作の学習	漢字の書の創作	・半紙に隸書または草書で作品制作をする。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
第2学期	9	漢字の書の学習	篆書の古典 ・石鼓文 ・泰山刻石 ・金文 ・甲骨文	・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・篆書特有の運筆法の基本を理解する。 ・篆書古典の臨書学習により、基本的な点画の線質の表し方、用筆法・運筆法、結体と構成法について学ぶ。 ・古典の表現法を理解し、その特徴の時代背景を通して鑑賞し、臨書する。	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞

	10	篆刻 ・ 姓名印を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書の中の篆刻の位置づけと意味を理解する。 ・ 創作の準備と手順を知る。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、全体構成を考える。 ・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	12	創作の学習 条幅作品の制作		

第3学期	1	【仮名の書】 散らし書き ・ 寸松庵色紙 仮名の書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。 ・ 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・ 創作の準備と手順を知る。・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 ・ 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞
	2	【漢字仮名交じりの書】 漢字仮名交じりの書の作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。漢字仮名交じり文の書独特の画面構成を習得する。 ・ 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・ 創作の準備と手順を知る。・ 用具・用材と表現の関係を考える。 ・ 自己の意図やねらいを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 ・ 自らの思考や感動を表現できる語句を選び、漢字仮名交じりで表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身につける。 ・ 各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	行動観察 ワークシート 作品途中経過 完成作品 鑑賞

3 評価の観点

知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・ 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 ・ 書を取り巻く諸文化に関する総合的な知識と技能を組み合わせ、効果的に表現している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 ・ 書の美を構成する要素を多角的な視点で分析し理解することで、意図に即した表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。 ・ 特定の単元で身に付けた知識と技能について必要に応じて振り返り、他の単元においても継続して活用しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

書道Ⅱでは、書道Ⅰの内容を発展させて、書道Ⅰではあまり扱うことができなかった書体や書風を中心に学習し、表現します。
古典や世界史、日本史と関連づけながら、書道史についても理解を深めましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～7組 国際人文科・2年・8組
教科書	新図説家庭基礎（実教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達する人生 ・青年期を生きる ・生活を支える労働 ・現代の家族 ・家族家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 ・家族にかかわる法律 	ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解し、これからの家庭生活や社会のあり方、人生設計について考えを深めます。家族の意義について考え、さまざまな家族・家庭があることを理解し、人の一生と家族のかかわりについて考えます。	行動観察 授業プリント 行動観察 授業プリント 実習レポート 期末考査
	5				
	6	5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活と健康 ・五大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・栄養バランスを考える ・調理の基本 ＊糖度実験 期末考査	栄養・食品の知識、調理に関する基礎的な知識と技術を身に付けます。 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を学習します。 食品の選択、食品の表示と保存について学習します。 自分の食生活の実態、現代の食生活を取り巻く環境について学習します。	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	3章 高齢者とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢社会を支えるしくみ ＊高齢者疑似体験 ・社会保障制度（公助） ・社会の一員としての私たちの役割（互助・共助） 	高齢社会の現状と課題を理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。介護保険制度やサービス等の内容を知り、家庭生活を支える社会福祉の重要性を学びます。	行動観察 授業プリント 行動観察 授業プリント 提出物 行動観察 授業プリント 実習レポート レポート 期末考査
	10	4章 社会とかかわる			
	10	7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と住まいのかかわり ・平面計画からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康、安全な住まい ・持続可能な住まい ＊平面計画 	気候風土や生活機能に応じた住空間の構成について学びます。 ライフスタイルと住まいのかかわりについて考え、住まいの安全・衛生・管理について学びます。	
	11	6章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわり ・健康で安全な衣服 ・衣服素材の種類と特徴 ・衣服素材の性能と改善 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・家庭での洗濯・保管 ・持続可能な衣生活をつくる ＊洗濯実験	衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになります。 衣服の購入・洗濯・保管などについて理解し、資源・環境にも配慮した衣生活について学習します。	
12	ホームプロジェクト		自分や身の回りの生活課題を見つけ、どのように改善することができるか考えを深めます。		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	2章 子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの誕生 ・子どもの体と心の発達 ・子どもの生活習慣と健康 ・子育て支援、制度 ＊子どものおもちゃ製作 	<p>子どもの特徴や発達過程を学び、男女で子育てにかかわる重要性を理解するとともに子どもを育てる責任についても考えます。</p> <p>子育てにかかわる社会的サポートの必要性と現状、今後の課題について考えます。</p>	<p>行動観察 授業プリント 実習レポート 作品提出</p>
	2	8章 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・契約と主体的な消費行動 ・多様化する支払い方法と販売方法と問題商法 	<p>家庭の収入や支出の構造を理解し、経済生活の設計と管理について学びます。</p> <p>消費行動において重要である契約の意味をはじめ、多様な販売方法や支払い方法、若者が狙われやすい悪徳商法の対策方法について学びます。</p>	
	3	9章 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者を守る制度、法律 ・消費者の権利と責任 ・持続可能な社会の構築 ・収入と支出を把握する ・社会と家計の変化 ・人生設計とリスク管理 ＊ライフプランシート作成 	<p>ライフイベントに必要なお金について知り、生活設計について考え、リスクに対して準備をしていく必要性について学びます。</p>	<p>学年末考査</p>

3 評価の観点

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

4 評価の方法

<p>知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。</p> <p>定期考査、授業中に使ったプリント、学習ノート、実習作品、提出物の内容及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価する。</p>
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。</p> <p>実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。</p> <p>家庭科では、生活者として自分はどう行動すべきかといった意志決定について授業を通して学んでいきます。</p> <p>授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。</p> <p>考査は1学期末、2学期末、学年末の3回です。</p>
--

令和8年度 英語科「総合英語Ⅱ」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	国際人文科・2年・8組
教科書	ELEMENT English Communication II (啓林館)	副教材等	ELEMENT II サブノート(啓林館)、Read-Think-Express Level 2(いいずな書店)、英文法・語法問題 GRAMMARMASTER 改訂第2版(Z会)、Evergreen English Grammar 25レッスン updated(いいずな書店) Evergreen(いいずな書店)、英単語ターゲット 1900(旺文社)

1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、情報や考えなどを的確に伝えたりする力を一層伸ばし、社会生活に追って活用できるようにする。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	【Listening】 ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。 【Reading】 2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM130) 【Speaking】 ●Spoken interaction ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりできる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明することができる。 【Writing】 身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson 1	○文化の違いについての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。	知	○	取	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題 ・リスニングテスト ・小テスト	
		Lesson 1 ～ Lesson 2	○身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書く。	知	○	取	○	○	3		
		Lesson 2	○身近な事柄について短い会話を聞いて、詳細を聞き取る。 ○身近な事柄について短い社会的なやり取りをする。	知	○	取	○	○	6		
		Optional Lesson	○オーストラリアの説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知	○	取	○	○	3		
中間 考査	中間考査			知	○	取	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度		
6	【Listening】 ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。 【Reading】 2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM130) 【Speaking】 ●Spoken interaction ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりできる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明することができる。 【Writing】 身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	日本文化紹介プレゼン	○身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書く。 ○日本文化についてペアでプレゼンテーションを行う。	知	○	取	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題 ・リスニングテスト ・小テスト		
		Lesson 3	○事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする	知	○	取	○	6			
		Lesson 3	○聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見交換をしたりする	知	○	取	○	6			
		Lesson 3	○聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く ○パフォーマンステスト	知	○	取	○	3			
期末 考査	期末考査			知	○	取	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度		

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	【Listening】 スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。 【Reading】 2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM140) 【Speaking】 ●Spoken interaction 聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Lesson 4	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知	○	○	○	○	○	6	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題 ・リスニングテスト ・小テスト
		海外研修 英語会話	海外研修に向けて会話練習を行う。与えられたシチュエーションに対して適切な応答ができるよう取り組む。	知	○	○	○	○	○	3	
		日本文化 プレゼン	海外研修で行うペアプレゼンテーションを行う。	知	○	○	○	○	○	6	
10	【Speaking】 ●Spoken interaction 聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。 【Writing】 序論・本論・結論の段落構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson 5	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	知	○	○	○	○	○	3	
		中間 考査		知	○	○	○	○	○	4	
11	【Listening】 スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。 【Reading】 2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM140) 【Speaking】 ●Spoken interaction 聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Lesson 6	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見交換したりする。	知	○	○	○	○	○	3	
		Lesson 6	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。	知	○	○	○	○	○	6	
		英検対策	過去問題を解き出題傾向や解き方を理解する。	知	○	○	○	○	○	3	
12	【Writing】 序論・本論・結論の段落構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	英検対策	パラフレーズ(元の文章を簡潔にまとめ、書き換えて伝える練習)の練習を行い、まとまりのある文を書く。	知	○	○	○	○	○	3	
		期末 考査		知	○	○	○	○	○	6	・授業内容の理解度 ・初見問題の理解度

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	【Listening】 スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。 【Reading】 2年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM140)	Lesson 7	事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする	知	○	○	○	○	○	3	・授業内の取り組み ・パフォーマンステスト ・課題 ・リスニングテスト ・小テスト
		Lesson 7	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする	知	○	○	○	○	○	3	
2	【Speaking】 ●Spoken interaction 聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。 ●Spoken production 簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	Lesson 8	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見交換をしたりする	知	○	○	○	○	○	3	
		Lesson 8	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く	知	○	○	○	○	○	3	
3	【Writing】 序論・本論・結論の段落構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Optional Lesson	パフォーマンステスト	知	○	○	○	○	○	3	
学 年 末 考 査	学 年 末 考 査			知	○	○	○	○	○	6	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えあう技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身につけている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。

評価の方法	知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	--

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業内での活動に、積極的に取り組んでください。間違えてもよいのでたくさん考えて取り組みましょう。 2 文法や単語の知識は、コミュニケーションを支える大切な要素です。しっかり勉強し、それらを実際のコミュニケーションの場面で積極的に使ってみましょう。 3 授業には必ず辞書を用意して臨みましょう。わからない語句は自分で調べ、英英辞書で意味を調べ、英語でイメージすることを意識しましょう。 4 和訳ではなく、英語の文を英語のまま理解する練習をしましょう。 5 とにかく、英語の学習を楽しみましょう。英語を使いこなす未来の自分をイメージしましょう。
---	--

令和8年度 英語科「ディベート・ディスカッションⅠ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科・2年・8組
教科書	CROWN Logic and Expression II (三省堂)	副教材等	CNN Workbook Intensive Course (朝日出版) Logical English Reading (三省堂)

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと(やりとり)を中心に、話すこと(発表)、書くこと、聞くことの領域に設定する目標の実現を目指した指導を通して、知識および技能、思考力・判断力・表現力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、学びに向かう力を育成する。日常的话题や社会的な話題に関する論題について、使用する語句や文、議論の展開など、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、賛成反対の立場を取った上で論理的に一貫性のある議論を展開することができるようにする。日常的话题や社会的な話題について、使用する語句や文、議論の展開など、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる [表現力育成] スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション	Topic 1 News 1 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
5	・身近な話題について、自分の意見を伝えることができる [表現力育成] スピーチ、ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション	Topic 2 News 2 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
6	・身近な話題について、形式に沿って論理的に話すことができる	Topic 3 News 3、 4 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
7	・身近な話題について、形式に沿って論理的に話すことができる	Topic 3 News 3、 4 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
7	・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	Topic 3 News 3、 4 Crownなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。	Topic 4、5 News 5、 6 CROWNなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
10	・身近な話題について、資料を用いて相手に説明することができる。	Topic 4、5 News 5、 6 CROWNなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
10	・序論・本論・結論で相手に意見を伝える事ができる。	Topic 4、5 News 5、 6 CROWNなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			
10	・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	Topic 4、5 News 5、 6 CROWNなど	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	思			○	○	○	○	○			
	態			○	○	○	○	○			

11	教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。	Topic 7、9 News 7、9 CROWN など	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート							
	・身近な話題について、資料を用いて相手に説明することができる。			思	○	○	○	○	○			知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	・序論・本論・結論で相手に意見を伝える事ができる。・社会的な話題について自分の意見を伝えることができる。			思	○	○	○	○	○			知	○	○	○	○		
・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。	思	○	○	○	○	○	知	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート					

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
1	・教科書で学んだ文法・表現を理解し、それらを使って自分の意見や考えを表現できる。	Topic 8 News 10 CROWN など	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	・身近な話題について、資料を用いて相手に説明することができる。			思	○	○	○	○	○		
2	・序論・本論・結論で相手に意見を伝える事ができる。	Topic 8 News 1、2 CROWN など	○Conversation Strategy ① ○リスニング教材の理解と練習 ○グループワークで意見を口頭で伝えあう ○意見を文章で効果的に伝える ○パラグラフライティング ○リスニングテスト(授業内) ○パフォーマンステスト(週1回授業内)	知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
	・社会的な話題について自分の意見を伝え、相手の意見に反論することができる。			思	○	○	○	○	○		
3	・ニュースなどの教材をナチュラルスピードで聞くことができる。			知	○	○	○	○	○	9	スピーチ発表、 プレゼンテーション ディスカッション、ディベート
				思	○	○	○	○	○		

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	思考判断表現の観点を達成するのに必要な、英語の特徴や決まりに関する事項についての、知識および技能を有している。				
思考・判断・表現	1. 聞いた英語を正しく理解し、それに対して自分の意見や考えを述べることができる。2. 聞いた内容を要約し、相手についてさらに深く調べて、要約と自分の意見を合わせて発表することができる。		1. ペアワークにおいて、相手の発言について短いコメント (Sounds good! など) を即興で伝え合うことができる。2. ペアワークにおいて、相手の発言を即興で要約して、確認し合うことができる。3. ペアワークにおいて、自分の発言を繰り返すなどして、伝え合うことができる。4. ペアワークにおいて、自然なやり取りを続けることができる。	1. 読んだり聞いたりした内容を、事前に準備したキーワードをもとに、相手にわかるように大まかな内容を話すことができる。2. 自分の意見を、理由や例などと共に、一貫性を持って述べることができる。3. 自分や学校生活のことなど、身近な話題であれば、事前に準備したキーワードをもとに、話すことができる。	
主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現の観点を達成するために、主体的に学習に取り組んでいる。				

評価の方法	パフォーマンステスト(Interview tests、Speech、Listening test、debate、discussion など)を中心に思考力・判断力・表現力、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度の3観点で評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	授業での使用言語は英語のみです。 教員や友人との会話全て英語で行いましょう。「話す」「聞く」の多い授業です。ペアやグループの中で、コミュニケーションを大切に、お互いによく聞き、よく話す事が英語力向上の秘訣です。話すときは間違いを恐れず、聞き手になったときは相手の言ったことを理解しようとするのが大切です。 辞書を毎時間持ってきてください。
---	---

令和8年度 英語科「 エッセイライティング I 」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	国際人文科 2年 8組
教科書	Revised Vision Quest English Logic and Expression I Advanced (啓林館)	副教材等	Logical English Reading (三省堂)

1 学習の到達目標

英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発書		
4	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson1 Lesson2 Lesson3	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
5	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson1 Lesson2 Lesson3	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
中間 考查	中間 考查			知				○	2	文法テスト
				思				○	2	ライティングテスト
				態						
6	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson4 Lesson5	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
7	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	Lesson4 Lesson5	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
期末 考查	期末 考查			知				○	2	文法テスト
				思				○	2	ライティングテスト
				態						

第2学期学習指導計画

月	育成する資質・能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域				評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発書		
9	序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson6 Lesson7	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
10	序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	Lesson6 Lesson7	○帯活動(ウォームアップ) ○文法項目のエクササイズ ○オピニオンライティング ○ライティングテスト ○文法テスト	知				○	3	文法テスト
				思				○	3	ライティングテスト
				態		○				
知							○	3	文法テスト	
思							○	3	ライティングテスト	
態					○					授業内観察・提出物
中間 考查	中間 考查			知				○	2	文法テスト
				思				○	2	ライティングテスト
				態						

